

福祉会便り

2012年5月20日

特定非営利活動法人どんぐり福祉会事務局発行

◎どんぐり福祉会の新たな試み！！

2町歩を超える広大な畑の耕作計画

約2年前、清水製粉(株)で購入した東寺尾の畑にはビニールハウスの骨組みがしっかりした状態で残っていました。幸いにもその土地を福祉会が借りて耕作させて貰うことになったのです。

今年になって、畑がドンドン大きくなって、2町歩を越える勢いになってきています。東寺尾地区を中心に更に貸してくださる方々が増えてきたのです。この広大な畑地を利用して、今年から栽培種目や栽培量を大きく大きく増やしていこうと考えております。寄付金を元手に購入したトラクターがフル活動中です。

キノコ生産を受け持つ就労支援A型事業「ソラノシタ」が動き出して初めての夏を迎えます。夏期は、キノコ関係者の危機状態にもなってきます。キノコ消費量がどうしても少なくなってくるからです。「ソラノシタ」も同様で、キノコ生産収入が減り、利用者の給料にも大きく響いてくるのです。一年を通して地域の皆様方に何とかお役に立てる仕事はないかを模索した結果が、夏野菜類の栽培と販売となったのです。

2反歩(約2000㎡)近くの畑に200Kgを遙かに超えるジャガイモの植え付けは壮観な光景でした。15人を超える利用者とスタッフが一堂に揃って植えつける姿には周りで働くお百姓さん方もビックリです。大きな畑が瞬く間に作付け完了!!実に見事な景色でした。

ジャガイモの作付け地は、昨年までは岩野橋下・河川敷の中だったので、絶えず水害の心配がついて離れませんでした。今年は水害のない河川敷の外地を借りて植えたので、水浸しの恐れは無くなりました。

農業に詳しい方を専任技術指導官に！

この様な大きな畑地で仕事をするには、農業に深い見識と多くの経験を持たれた方がいてもらわないと運営が成り立っていきません。そこで、福祉会は、長崎県で18ヘクタールの広大な農地で農業経験があり、アメリカカリフォルニア州で農業酪農研修をされた田橋弘行さんに白羽の矢を立てました。この方は、柿の木農場(株)田橋専務のお父さんに当たります。だから前述のジャガイモ畑の見事な光景が実現したのです。

田橋さん指導のもとこれまで作付けした主な品種と数量

トマト 2,000本 ナス 500本 キュウリ 400本 里芋 100Kg 長ネギ 10,000本 カボチャ約70本 ケール(青汁原料) 10,000本以上等々

田橋さんの理想として掲げる農法は、田橋さんが人生の師匠と仰いでいる民俗学者宮本常一氏と共に構想した産地直売農業です。従って自分たちが生産した野菜類を自分たちが主体的に販売ルートに載せて消費者に届けることを目指しています。今までも田橋さんはアップルランドやマツヤに一日に三回も出荷することがあったとのこと。新鮮で美味

しいので購入速度が速く、商品が無くなるので三回も継ぎ足さなければならなかったのです。

これから大忙しになって大変ですが、とても楽しみです。収穫袋詰め等のボランティアして下さる方大歓迎します。「どんぐり農園」近くにお立ち寄りの折には、直接農場でご自分の目で確かめて購入いただくことをお勧め致します。そしてご自分の周りの多くの方々に宣伝していただきたいと願っております。



◎6月16日(土)9時半～定期総会

忙しい中でも、総会が近づいております。今年は上記日にちに実施致します。

何卒、ご都合の上ご出席願います。やむを得ずご欠席の方は同封の委任状を御願ひ致します。

尚、昨年度分の会費未納の方は、お手数でも指定口座へお振込を御願ひ致します。

財団法人JKAから競輪助成金頂きます

助成金を利用し就労継続支援A型松代えのき工場ソラノシタでの送迎車の購入をします。